

雄踏中学校の防災宿泊訓練 炊き出し訓練をお手伝い！



段ボールで寝床を作る生徒
＝浜松市西区の雄踏中

避難所想定し宿泊訓練

西区・雄踏中 寝床、間仕切り設置

浜松市西区の雄踏中
1年生145人が10日
から1泊2日の日程
で、避難所生活を模擬
体験する「防災宿泊訓
練」を校内で行ってい
る。市の「夢育やらま
いか授業」の一環。初
日は避難所で使用する
パーティション（間仕
切り）の組み立てや炊
き出しを実践した。

自分の命を自分で守
る「自助」の力を身に
つけるのが狙い。教室
を災害時の避難所に見
立て、寝床や間仕切
りを設置した。各自が
持ち寄った段ボールを
組み立てたり、敷いた
りしてプライベート空
間を確保した。

住民のボランティアや
企業担当者のアドバイ
スを受けながら、アル
ファ米を使ってカレー
ライス調理した。

11日は災害発生時の
避難行動について学ぶ
講座や消火訓練を予定
している。

（浜松総局・金沢元気）



静岡新聞に、雄踏中学校で行われた防災宿泊訓練の様子が掲載されました。これは雄踏中学校の一年生が、一泊二日で避難所生活を体験するもので、エネジは、毎回炊き出し訓練のガス設備の提供と使用のアドバイスをしています。「いざという時に、自分の命を自分で守る『自助』の力を身につける」被災時、避難時に役立つ経験ができるよう、今後もお手伝いしていきます。今後も地域の皆様のお役に立てる活動に取り組んでまいります。

令和4年(2022年)11月11日(金)

静岡新聞

